



Cisco Unity Express AvT アドミニストレータ ガイド - Release 2.1

リリース 2.1

このマニュアルでは、Cisco Unity Express の管理者が電話 (AvT) システム経由で Administration を使用して実施する基本的な作業について説明します。関連マニュアルは <http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/unityexp/index.htm> で入手できます。

- 自動受付の管理 (P.2)
 - 前提条件と関連設定タスク (P.2)
 - オプション自動受付グリーティングの管理 (P.4)
 - カスタム プロンプトの録音 (P.5)
- ブロードキャスト メッセージの送信 (P.6)
 - 前提条件と関連コンフィギュレーション タスク (P.6)
 - ブロードキャスト メッセージ管理メニューへのアクセス (P.7)
 - ローカル ロケーションのすべてのユーザへのブロードキャスト メッセージの送信 (P.7)
 - すべてのロケーションのユーザへのブロードキャスト メッセージの送信 (P.8)
 - 特定のロケーションへのブロードキャスト メッセージの送信 (P.8)
 - メッセージ オプションの選択 (P.9)
- リモート ロケーションとリモート ユーザの音声名の録音 (P.11)
 - 音声名管理メニューへのアクセス (P.11)
 - リモート ロケーションの音声名の録音 (P.11)
 - リモート ユーザの音声名の録音 (P.12)

自動受付の管理

Cisco Unity Express では、ボイスメール システムとグリーティング、および発信者が自動受付に到達したときに再生されるプロンプトとメニューをいくつかの方法で管理できます。自動化された受付（自動受付）は、ボタンを押して各部署につなぐ場合や従業員の内線番号を入力する場合など、発信者がさまざまな機能を利用するときのガイド用のグリーティングとメッセージをまとめたものです。自動受付スクリプトは、コールを自動受付で処理する方法を定義した、手順と変数を含んだファイルです。たとえば、どのプロンプトをどの状況で再生するか、特定のコールをどの内線番号に転送するかなどを定義します。自動受付プロンプト（グリーティングとも呼ばれます）は、発信者に再生される録音済みのサウンドファイルで、自動受付メニューを構成する要素です。

標準の初期グリーティングおよびその他のシステム メッセージは、Cisco Unity Express に含まれているデフォルト自動受付ファイルの一部として提供されます。自動受付スクリプトと自動受付プロンプトは独自に作成することもできます。このマニュアルでは、AvT システムを使用してグリーティングとプロンプトを管理および録音する方法について説明します。これらの機能の一部は、ほかのツールを使用して実行することもできます。P.2 の「前提条件と関連設定タスク」に示した参考文献を参照してください。

前提条件と関連設定タスク

必須

- すべての Cisco Unity Express ソフトウェアのネットワーク モジュールまたは AIM へのインストール
- 自動受付、ボイスメール、および AvT アプリケーションのための電話番号の設定
- Cisco Unity Express、および Cisco CallManager Express または Cisco CallManager の設定
 - [Cisco CallManager Express と Cisco Unity Express の設定](#)
 - [Cisco CallManager と Cisco Unity Express の設定](#)

オプション

独自の自動受付スクリプトをデスクトップ PC で作成します。次に、AvT システムを使用して、これらのスクリプトで使用するカスタム プロンプトを録音します。スクリプトの作成の詳細については、『[Cisco Unity Express Script Editor Installation and Configuration Guide](#)』を参照してください。

Cisco CallManager Express と Cisco Unity Express の設定

- ステップ 1** Cisco CallManager Express システムで、ボイスメール、自動受付、および promptmgmt (AvT) アプリケーションをポイントするように SIP ダイアル ピアを設定します。
- ステップ 2** Cisco Unity Express システムで、ボイスメール、自動受付、および promptmgmt (AvT) 用の SIP トリガーを設定します。

詳細については、『[Cisco Unity Express CLI Administrator Guide for Cisco CallManager Express, Release 2.1](#)』の「[Configuration Tasks](#)」を参照してください。



ヒント

自動受付と AvT の番号は、Cisco Unity Express GUI Initialization Wizard を実行したときに、または GUI の **Voice Mail > Call Handling** ウィンドウまたは **Administration > Call-in Numbers** ウィンドウで入力することもできます。詳細については、Cisco Unity Express System Administrator for Cisco CallManager Express の GUI のオンライン ヘルプを参照してください。

Cisco CallManager と Cisco Unity Express の設定

Cisco CallManager の GUI で、次の手順を実行します。

- ステップ 1** Cisco Unity Express 用の Java Telephony API (JTAPI) ユーザを作成し、各 Cisco Unity Express アプリケーション用のコンピュータ/テレフォニー インテグレーション (CTI) ルートポイントを設定します。『[Cisco Unity Express CLI Administrator Guide for Cisco CallManager, Release 2.1](#)』の「[Prerequisites for Implementing Cisco Unity Express on Cisco CallManager](#)」を参照してください。
- ステップ 2** CTI ルートポイントによって共有される CTI ポートを作成します。トランスコーダの使用を制御するために、CTI ポートを支社のデバイス プールに挿入します (オプション)。これらのポートを Cisco Unity Express で設定する方法については、『[Cisco Unity Express CLI Administrator Guide for Cisco CallManager, Release 2.1](#)』の「[Sharing Ports Among Applications and Triggers](#)」を参照してください。
- ステップ 3** ネットワークのすべてのコールで G.711 コーデックを使用する場合を除いて、支社ごとにリージョンを定義し、コーデックを選択する必要があります。複数のコーデックを使用する場合は、Cisco Unity Express を終端とする G.729 コールをコード変換するために、トランスコーダを追加する必要があります。

Cisco Unity Express システムで、次の手順を実行します。

- ステップ 1** ボイスメール、自動受付、および promptmgmt (AvT) アプリケーション用の JTAPI トリガーを設定します。『[Cisco Unity Express CLI Administrator Guide for Cisco CallManager, Release 2.1](#)』の「[Configuring JTAPI Parameters](#)」を参照してください。

これらのアプリケーションの番号は、GUI の **Configure > CallManager** ウィンドウで入力することもできます。詳細については、Cisco Unity Express System Administrator for Cisco CallManager の GUI のオンライン ヘルプを参照してください。
- ステップ 2** **ccm-manager address** コマンドまたは GUI の **Configure > CallManager** ウィンドウを使用して、Cisco CallManager サーバの IP アドレスを入力します。
- ステップ 3** CLI の **ccm-manager username** コマンドまたは GUI の **Configure > CallManager** ウィンドウを使用して、Cisco CallManager で作成した JTAPI のユーザ名とパスワードを入力します。
- ステップ 4** CLI の **ctiport** コマンドまたは GUI の **Configure > CallManager** ウィンドウで、Cisco CallManager で設定した CTI ポートを入力します。

オプション自動受付グリーティングの管理

オプション自動受付グリーティングは、自動受付に到達した発信者に再生される通常の初期グリーティングよりも前に再生されるグリーティングです。AvT を使用すると、緊急の場合や短期間のイベント（休日など）に使用されるオプショングリーティングを録音し、アクティブにできます。



(注) 自動受付グリーティングメニューにアクセスするには、AvT にコールする発信元内線番号が管理者特権を持っている必要があります。

オプション自動受付グリーティングメニューへのアクセス

ステップ 1 Cisco Unity Express AvT システムにコールするための電話番号をダイヤルします。

ステップ 2 内線番号と PIN を入力します。

ステップ 3 1 を押して、オプション自動受付グリーティングメニューにアクセスします。

- オプショングリーティングがアクティブになっている場合は、次の操作を実行できます。
 - オプショングリーティングを聞くには、**1** を押します。
 - オプショングリーティングを再録音するには、**2** を押します。「[オプション自動受付グリーティングの録音](#)」を参照してください。
 - オプショングリーティングを非アクティブにするには、**3** を押します。非アクティブにしたオプショングリーティングは、システムから削除されます。
- オプショングリーティングがアクティブになっていない場合は、**1** を押すとオプショングリーティングを録音できます。

オプション自動受付グリーティングの録音

ステップ 1 オプション自動受付グリーティングメニューにアクセスし、**2**（オプショングリーティングが存在する場合）または**1**（オプショングリーティングが存在しない場合）を押すと、トーンが聞こえます。トーンが終了したら、録音内容を読み上げます。

ステップ 2 # を押して、録音を停止します。

ステップ 3 次のいずれかを実行します。

- オプショングリーティングを保存してアクティブにするには、**1** を押します。
- オプショングリーティングを聞くには、**2** を押します。
- オプショングリーティングを再録音するには、**3** を押し、ステップ 1～ステップ 3 を繰り返します。

カスタム プロンプトの録音

AvT を使用すると、Cisco Unity Express のスクリプト エディタで作成する、カスタマイズした自動受付スクリプト用のカスタム プロンプトを録音できます。詳細については、『Cisco Unity Express Script Editor Installation and Configuration Guide』を参照してください。



(注) 自動受付グリーティング メニューにアクセスするには、AvT にコールする発信元内線番号が管理者特権を持っている必要があります。

ステップ 1 Cisco Unity Express AvT システムにコールするための電話番号をダイヤルします。

ステップ 2 内線番号と PIN を入力します。

ステップ 3 2 を押して、カスタム プロンプト メニューにアクセスします。

カスタム プロンプト メニューでは、新しいカスタム プロンプトの録音、および以前に録音したプロンプトの確認と管理を実行できます。

新しいカスタム プロンプトを録音するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 カスタム プロンプト メニューで、**1** を押します。

ステップ 2 トーンが終了したら、録音内容を読み上げます。

ステップ 3 # を押して、録音を停止します。

ステップ 4 新しく録音したプロンプトが再生されます。次のいずれかを実行します。

- プロンプトを保存するには、**1** を押します。
 - プロンプトを削除するには、**2** を押します。
-

以前に録音したカスタム プロンプトを確認および管理するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 カスタム プロンプト メニューで、**2** を押します。録音済みのカスタム プロンプトの数が通知されます。

ステップ 2 各プロンプトが、録音した順に再生されます。各プロンプトの再生中または再生後に、次のいずれかの操作を実行します。

- プロンプトを削除するには、**3** を押します。**1** を押して、削除を確定します。
 - 次のプロンプトに進むには、# を押します。
 - プロンプト通知を省略するには、* を押します。
-

ブロードキャストメッセージの送信

AvT を使用すると、ローカル システム、指定したリモート ロケーション、またはすべてのリモート ロケーションを対象として、すべてのボイスメール ユーザにボイスメール メッセージを送信できます。このメッセージはブロードキャストメッセージと呼ばれ、ユーザのメールボックスにあるほかのどのメッセージよりも先に再生されます。このメッセージを削除または保存するには、ユーザはメッセージを最後まで聞く必要があります。ブロードキャストメッセージは、汎用の配信メールボックスでは受信できません。

前提条件と関連コンフィギュレーション タスク

ブロードキャストメッセージ特権

ブロードキャストメッセージを送信できるのは、Broadcaster 特権を持つグループのメンバーになっているユーザのみです。この特権をグループに割り当てるには、Cisco Unity Express の CLI (`group groupname privilege broadcast EXEC` コマンド)または GUI (Configure > Groups > Capabilities > Voice Mail Broadcaster メニュー) を使用します。

MWI ランプ

デフォルトでは、ブロードキャストメッセージを受信してもユーザのメッセージ ウェイティング インジケータ (MWI) ランプは点灯しません。この動作は、CLI の `voicemail broadcast mwi` コマンドを設定モードで使用すると変更できます。GUI の場合は、Defaults > Voice Mail を選択し、Use MWI for broadcast messages フィールドで **Yes** を選択します。

リモート ロケーション

ネットワークが Cisco Unity Express ロケーションのみで構成されている場合は、リモート ロケーションでブロードキャストメッセージを受信してメッセージをすべてのユーザに配布するための、Voice Profile for Internet Mail (VPIM) ID および VPIM アドレスを設定する必要はありません。ただし、複数のリモート ロケーションが同じドメイン名を共有している場合は、それらのロケーションごとに一意の VPIM ID を入力する必要があります。Cisco Unity システムにネットワークで接続されているリモート ロケーションの場合は、Cisco Unity システムと互換性のある VPIM ブロードキャスト数値 ID を入力します。ブロードキャストメッセージを Cisco Unity から Cisco Unity Express に送信するには、VPIM ID が両方のシステムで一致している必要があります。

VPIM ID を設定するには、CLI で次のコマンドを使用します。

```
network location id location-id
```

```
voicemail broadcast vpim-id vpim-id
```

この ID を GUI で設定するには、Administration > Networking Locations を選択し、ロケーション名をクリックして、VPIM Broadcast ID フィールドに ID を入力します。

メッセージの長さとお有効期限

ブロードキャストメッセージの最大長、つまりブロードキャストメッセージの時間の上限 (秒) は、CLI で `voicemail broadcast recording time broadcast-length` コマンドを設定モードで使用して設定できます。有効な値は 10 ~ 3600 秒です。

システムのデフォルト有効期限は、ブロードキャストメッセージをシステムに格納した時点からの日数です。デフォルトは 30 日です。システムのデフォルト有効期限は、`voicemail default broadcast expiration time broadcast-days` コマンドを設定モードで使用して変更できます。システム デフォルト値の上限は 365 日です。

この値は、GUI の Defaults > Voicemail メニューを使用して変更できます。

ブロードキャストメッセージ管理メニューへのアクセス

ブロードキャストメッセージ管理メニューにアクセスするには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** Cisco Unity Express AvT システムにコールするための電話番号をダイヤルします。
- ステップ 2** 内線番号と PIN を入力します。
- ステップ 3** **3** を押して、ボイスメール管理メニューにアクセスします。
- ステップ 4** **1** を押して、ブロードキャストメッセージ管理メニューにアクセスします。
- ステップ 5** ブロードキャストメッセージ管理メニューで、次の操作を実行します。
- ローカル ロケーションのすべてのユーザにメッセージを送信するには、**1** を押します。「[ローカル ロケーションのすべてのユーザへのブロードキャストメッセージの送信](#)」を参照してください。
 - ほかのロケーションのすべてのユーザにメッセージを送信するには、**2** を押し、次の操作を実行します。
 - すべてのロケーションのすべてのユーザにメッセージを送信するには、**1** を押します。「[ローカル ロケーションのすべてのユーザへのブロードキャストメッセージの送信](#)」を参照してください。
 - 1 つまたはそれ以上のロケーションのユーザにメッセージを送信するには、**2** を押します。「[特定のロケーションへのブロードキャストメッセージの送信](#)」を参照してください。
-

ローカル ロケーションのすべてのユーザへのブロードキャストメッセージの送信

-
- ステップ 1** ローカル ロケーションのすべてのユーザにメッセージを送信するには、ブロードキャストメッセージ管理メニューで **1** を押します。
- ステップ 2** トーンが終了したら、録音内容を読み上げます。
- ステップ 3** 録音中は、次のいずれかの操作を選択できます。
- 録音を停止して録音を聞くには、**1** を押します。
 - 録音内容を削除してもう一度録音を開始するには、**3** を押します。
 - ヘルプを聞くには、**0** を押します。
 - 録音を停止してメッセージ オプションを選択するには、**#** を押します。「[メッセージ オプションの選択](#)」を参照してください。
-

すべてのロケーションのユーザへのブロードキャストメッセージの送信

-
- ステップ 1** ほかのロケーションのユーザにメッセージを送信するには、ブロードキャストメッセージ管理メニューで **2** を押します。
- ステップ 2** すべてのロケーションのユーザにメッセージを送信するには、**1** を押します。
- ステップ 3** トーンが終了したら、録音内容を読み上げます。
- ステップ 4** 録音中は、次のいずれかの操作を選択できます。
- 録音を停止して録音を聞くには、**1** を押します。
 - 録音内容を削除してもう一度録音を開始するには、**3** を押します。
 - ヘルプを聞くには、**0** を押します。
 - 録音を停止してメッセージオプションを選択するには、**#** を押します。「[メッセージオプションの選択](#)」を参照してください。
-

特定のロケーションへのブロードキャストメッセージの送信

-
- ステップ 1** ほかのロケーションのユーザにメッセージを送信するには、ブロードキャストメッセージ管理メニューで **2** を押します。
- ステップ 2** 1 つまたはそれ以上の特定ロケーションのユーザにメッセージを送信するには、もう一度 **2** を押します。
- ステップ 3** ロケーション番号を入力し、**#** を押します。キャンセルするには、***** を押します。
- ステップ 4** ロケーションを追加したことが通知されます。ほかのロケーションを追加するには、ロケーション番号を入力し、**#** を押します。キャンセルするには、**#** を押します。
-

メッセージをまだ録音していない場合は、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** トーンが聞こえます。トーンが終了したら、録音内容を読み上げます。
- ステップ 2** 録音中は、次のいずれかの操作を選択できます。
- 録音を停止して録音を聞くには、**1** を押します。
 - 録音内容を削除してもう一度録音を開始するには、**3** を押します。
 - ヘルプを聞くには、**0** を押します。
 - 録音を停止してメッセージオプションを選択するには、**#** を押します。「[メッセージオプションの選択](#)」を参照してください。
-

メッセージをすでに録音している場合は、次の手順を実行します。

- ロケーションを追加するには、**1**を押します。[ステップ 3](#)を参照してください。
- 現在のアドレスを確認するには、**2**を押します。
- ロケーションを削除するには、**3**を押します。ロケーションを削除したことが通知されます。ほかのロケーションを削除するには、ロケーション番号を入力し、**#**を押します。キャンセルするには、**#**を押します。
- 指定内容をそのまま残すには、*****を押します。
- 送信するには、**#**を押します。

メッセージオプションの選択

メッセージを録音すると、ブロードキャストメッセージの再生が開始される日時および再生時間が通知されます。次のいずれかを実行します。

- 開始日時を設定するには、**1**を押し、次の操作を実行します。
 - メッセージをすぐに開始するように設定するには、**1**を押します。
 - 別の開始日時を設定するには、**2**を押します。「[開始日時の設定](#)」を参照してください。
 - 開始日時をそのまま残すには、*****を押します。
- 終了日時を設定するには、**2**を押し、次の操作を実行します。
 - メッセージの再生期間を無期限にするには、**1**を押します。
 - 別の終了日時を設定するには、**2**を押します。「[終了日時の設定](#)」を参照してください。
 - 終了日時をそのまま残すには、*****を押します。
- メッセージを確認するには、**3**を押し、次の操作を実行します。
 - 録音した内容を再生するには、**1**を押します。
 - 再録音を実行するには、**2**を押します。
 - メッセージを宛先指定するには、**4**を押します。
 - そのまま残すには、*****を押します。
 - 送信するには、**#**を押します。
- 開始日時と終了日時を確認するには、**4**を押します。
- メッセージをそのまま送信するには、**#**を押します。
- キャンセルするには、*****を押します。
- ヘルプを聞くには、**0**を押します。

開始日時の設定

別の開始日時を設定するには、**2** を押し、次のいずれかの操作を実行します。

- 当日中に開始するには、**0** を押します。分単位で時刻を入力し、**#** を押します。2桁で指定する必要があります。1～12までの数を入力する場合は、午前の場合は**1** を押し、午後の場合は**2** を押します。時刻は24時間制でも入力できます。
- 次の日に開始するには、**1** を押します。分単位で時刻を入力し、**#** を押します。2桁で指定する必要があります。1～12までの数を入力する場合は、午前の場合は**1** を押し、午後の場合は**2** を押します。時刻は24時間制でも入力できます。
- 現時点から数日後に開始するには、その日数を表す**2～8** を押します。2桁で指定する必要があります。分単位で時刻を入力し、**#** を押します。1～12までの数を入力する場合は、午前の場合は**1** を押し、午後の場合は**2** を押します。時刻は24時間制でも入力できます。
- 特定の日付を選択するには、**9** を押し、次の操作を実行します。

ステップ 1 月の数値（1月～12月）を入力します。

ステップ 2 日の数値を入力します。

ステップ 3 分単位で時刻を入力し、**#** を押します。2桁で指定する必要があります。1～12までの数を入力する場合は、午前の場合は**1** を押し、午後の場合は**2** を押します。時刻は24時間制でも入力できます。

終了日時の設定

別の終了日時を設定するには、**2** を押し、次のいずれかの操作を実行します。

- 当日中に終了するには、**0** を押します。分単位で時刻を入力し、**#** を押します。2桁で指定する必要があります。1～12までの数を入力する場合は、午前の場合は**1** を押し、午後の場合は**2** を押します。時刻は24時間制でも入力できます。
- 次の日に終了するには、**1** を押します。分単位で時刻を入力し、**#** を押します。2桁で指定する必要があります。1～12までの数を入力する場合は、午前の場合は**1** を押し、午後の場合は**2** を押します。時刻は24時間制でも入力できます。
- 現時点から数日後に終了するには、その日数を表す**2～8** を押します。2桁で指定する必要があります。分単位で時刻を入力し、**#** を押します。1～12までの数を入力する場合は、午前の場合は**1** を押し、午後の場合は**2** を押します。時刻は24時間制でも入力できます。
- 特定の日付を選択するには、**9** を押し、次の操作を実行します。

ステップ 1 月の数値（1月～12月）を入力します。

ステップ 2 日の数値を入力します。

ステップ 3 分単位で時刻を入力し、**#** を押します。2桁で指定する必要があります。1～12までの数を入力する場合は、午前の場合は**1** を押し、午後の場合は**2** を押します。時刻は24時間制でも入力できます。

リモート ロケーションとリモート ユーザの音声名の録音

管理者特権を持つユーザは、リモート ロケーションとリモート ユーザの音声名を録音できます。これらの録音は、ボイスメールメッセージの宛先指定中または再生中に再生されます。

音声名管理メニューへのアクセス

音声名管理メニューにアクセスするには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1 Cisco Unity Express AvT システムにコールするための電話番号をダイヤルします。
 - ステップ 2 内線番号と PIN を入力します。
 - ステップ 3 3 を押して、ボイスメール管理メニューにアクセスします。
 - ステップ 4 2 を押して、音声名管理メニューにアクセスします。
 - ステップ 5 次のいずれかを選択します。
 - リモート ロケーションの音声名を録音するには、1 を押します（「リモート ロケーションの音声名の録音」を参照してください）。
 - リモート ユーザの音声名を録音するには、2 を押します（「リモート ユーザの音声名の録音」を参照してください）。
 - 終了するには、* を押します。
 - ヘルプを聞くには、0 を押します。
-

リモート ロケーションの音声名の録音

-
- ステップ 1 リモート ロケーションの音声名を録音するには、音声名管理メニューで 1 を押します。
 - ステップ 2 ロケーション ID を入力し、# を押します。
 - ステップ 3 録音済みの音声名が存在する場合は、現在の録音済み音声名が再生されます。現在の録音済み音声名をそのまま使用するには、* を押します。新しい名前を録音するには、トーンが聞こえたら名前を読み上げます。終了したら # を押します。
 - ステップ 4 # を押して、音声名管理メニューに戻ります。
-

リモート ユーザの音声名の録音

-
- ステップ 1** リモート ユーザの音声名を録音するには、音声名管理メニューで **2** を押します。
- ステップ 2** ロケーション ID とリモート ユーザの内線番号を入力し、**#** を押します。
- ステップ 3** 録音済みの音声名が存在する場合は、現在の録音済み音声名が再生されます。現在の録音済みユーザ名をそのまま使用するには、***** を押します。新しい名前を録音するには、トーンが聞こえたら名前を読み上げます。終了したら **#** を押します。
- ステップ 4** **#** を押して、音声名管理メニューに戻ります。
-

CCSP、CCVP、Cisco Square Bridge のロゴ、Follow Me Browsing、および StackWise は、Cisco Systems, Inc. の商標です。Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn、および iQuick Study は、Cisco Systems, Inc. のサービスマークです。Access Registrar、Aironet、ASIST、BPX、Catalyst、CCDA、CCDP、CCIE、CCIP、CCNA、CCNP、Cisco、Cisco Certified Internetwork Expert のロゴ、Cisco IOS、Cisco Press、Cisco Systems、Cisco Systems Capital、Cisco Systems のロゴ、Cisco Unity、Empowering the Internet Generation、Enterprise/Solver、EtherChannel、EtherFast、EtherSwitch、Fast Step、FormShare、GigaDrive、GigaStack、HomeLink、Internet Quotient、IOS、IP/TV、iQ Expertise、iQ のロゴ、iQ Net Readiness Scorecard、LightStream、Linksys、MeetingPlace、MGX、Networkers のロゴ、Networking Academy、Network Registrar、Packet、PIX、Post-Routing、Pre-Routing、ProConnect、RateMUX、ScriptShare、SlideCast、SMARTnet、StrataView Plus、TeleRouter、The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient、および TransPath は、米国および一部の国における Cisco Systems, Inc. とその関連会社の登録商標です。

このマニュアルまたは Web サイトで言及されているその他の商標はすべて、それぞれの所有者のもので、「パートナー」という語の使用は、シスコと他社の提携関係を意味するものではありません。(0502R)

Copyright © 2005, Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。

シスコシステムズでは以下のURLで最新の日本語マニュアルを公開しております。
本書とあわせてご利用ください。

Cisco.com 日本語サイト

http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/

日本語マニュアルの購入を希望される方は、以下のURLからお申し込みいただけます。

シスコシステムズマニュアルセンター

<http://www2.hipri.com/cisco/>

上記の両サイトで、日本語マニュアルの記述内容に関するご意見もお受けいたしますので、
どうぞご利用ください。

なお、技術内容に関するご質問は、製品を購入された各代理店へお問い合わせください。



シスコシステムズ株式会社

URL:<http://www.cisco.com/jp/>

問合せ URL:<http://www.cisco.com/jp/service/contactcenter/>

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-14-27 国際新赤坂ビル東館

TEL.03-5549-6500 FAX.03-5549-6501